

令和4年度

事業報告書

I 法人事業報告書

II 施設事業報告書

社会福祉法人 青い鳥

社会福祉法人 青い鳥 理念

共に悩み、

共に感動し、

共に認めあえる

法人を目指します。

目 次

I 法人事業報告 1 ページ

- (1) 総括（1年の振り返り）
- (2) 法人役員（理事、監事）、評議員、顧問名簿
- (3) 理事会開催状況
- (4) 評議員会開催状況
- (5) 監事監査実施状況
- (6) 静岡市 社会福祉法人指導監査
- (7) 地域貢献事業等実施状況
- (8) 職員関連事項
- (9) 社会福祉充実残額について
- (10) その他

II 施設事業報告

1. 日本平学園（就労継続支援B型事業、生活介護事業） . . . 6 ページ

- (1) 総括（1年の振り返り）
- (2) 利用者の状況
- (3) 利用率
- (4) 工賃支払い状況
- (5) 委託作業収入実績
- (6) 行事、イベント状況
- (7) 実習生及び見学者受け入れ状況
- (8) 苦情申し立て状況
- (9) 会議開催状況
- (10) 広報誌「青い鳥」発行状況
- (11) その他

2. 日本平ホーム・日本平ハイツ（共同生活援助〔包括型〕事業）・13 ページ

- (1) 総括（1年の振り返り）
- (2) 利用者の状況

- (3) 利用率
- (4) 利用者ミーティング実施状況
- (5) 避難訓練実施状況

3. 日本平ホーム短期入所事業所（短期入所事業） 15 ページ

- (1) 総括（1年の振り返り）
- (2) 利用実績
- (3) 避難訓練実施状況

事業報告の付属明細書 17 ページ

I 法人事業報告

(1) 総括（1年の振り返り）

令和4年度の法人事業計画に基づき、項目ごとに振り返りを行う。

1. 「日本平ハイツ事業開始に伴う運営の安定化推進及び職員の育成」について

開設時、夕方から夜にかけての職員の応募がなく、日本平ホームから職員1名の異動を行いスタートした。7月より夕方の職員も決まり徐々に基盤も固まっていた。また職員は2名とも調理の仕事を主としてきた為、職員会議時や困った時の対応など、その都度助言や指示を行い、職員の育成に努めている。

2. 「人材確保と育成」について

新卒や若年世代の採用は叶わなかったが、退職者が出た場合においては、その都度募集、面接を行い人材確保に努めた。また現職員についてもそれぞれ特性があり、育成という課題に向けて面談や定期（2週に1度）の振り返りを行う場を設け、注意や指針を示す場として職員が安心して前向きに働ける環境づくりに努めた。

3. 「地域貢献事業の推進、実施」について

生活困窮者の利用料免除の他、利用者が学園で生活するのに必要な物品の支給も実施し、保護者の出費の負担軽減を図った。

地域清掃活動（東豊田中央こども園側の土手の草刈り）や地域大学での福祉講演は継続して行い、交流として東豊田中央こども園園児へのお菓子配布も実施した。

4. 「理事会、評議員会の定期開催」について

各役員、評議員のご協力を頂き、コロナ禍においても全て一堂に会しての会議を実施することが出来た。11月、理事に欠員が生じたが、定款に従って滞りなく補充することが出来、現在に至っている。

(2) 法人役員（理事、監事）、評議員、顧問名簿(令和5年3月31日現在)

役職	定数(名)	現員(名)	氏名
理事	6～8	6	瀬戸脇 正勝(理事長) 飛田 喬行(副理事長) 武田 真良 磯部 智明 川島 貴美江 八木 克典
評議員	7～9	7	鈴木 奈保美 成島 康子 末永 淳子 古川 宗孝 田中 みどり 齊藤 敏春 佐藤 利男
監事	2	2	白鳥 幸男 石月 中
顧問	若干名	1	山田 孝史

(3) 理事会開催状況

開催日	審議内容・報告事項	結果
第1回 令和4年5月27日	第1号議案 育児・介護休業等に関する規則の改正について 第2号議案 日本平ホーム短期入所事業所及び日本平ホームの定員変更について 第3号議案 令和3年度 各種事業実績(案)について 第4号議案 令和3年度 各種会計決算(案)について 第5号議案 虐待防止委員会規程の制定について 第6号議案 定時評議員会の開催日時等について	可決 可決 可決 可決 可決 可決
第2回 令和4年11月9日	第1号議案 育児・介護休業等に関する規則の改正について 第2号議案 令和4年度 第1次各種会計補正予算(案)について 第3号議案 第2回評議員会開催日時等について	可決 可決 可決
第3回 令和4年12月10日	第1号議案 理事候補者の選出について 第2号議案 第2次日本平学園補正予算(案)について 第3号議案 第3回評議員会開催日時等について	可決 可決 可決
第4回 令和5年3月14日	第1号議案 嘱託職員の雇用延長について 第2号議案 給与規程の改正について 第3号議案 一時金の支給について 第4号議案 令和4年度 第3次各種補正予算(案)について 第5号議案 令和5年度 各種事業計画(案)について 第6号議案 令和5年度 各種当初予算(案)について 第7号議案 第4回評議員会の開催日時等について	可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決

(4) 評議員会開催状況

開催日	審議内容・報告内容	結果
第1回 令和4年6月15日	第1号議案 日本平ホーム(共同生活援助事業)の定員変更について 第2号議案 令和3年度 各種会計決算(案)について	可決 可決

第2回 令和4年11月18日	第1号議案 令和4年度 第1次各種会計補正予算(案)について	可決
第3回 令和4年12月19日	第1号議案 理事の選任について 第2号議案 令和4年度 第2次日本平学園補正予算(案)について	可決 可決
第4回 令和5年3月23日	第1号議案 令和4年度 第3次各種補正予算(案)について 第2号議案 令和5年度 各種事業計画(案)について 第3号議案 令和5年度 各種当初予算(案)について	可決 可決 可決

(5) 監事監査実施状況

開催日	監査事項	意見	指摘事項
第1回 令和4年5月13日 (決算監査)	理事の業務執行状況 法人の財産管理状況 法人及び施設の業務執行状況 法人及び施設の会計状況 その他の状況	適正である 適正である 適正である 適正である 適正である	無し 無し 無し 無し 無し
第2回 令和5年2月7日 (定期監査)	理事の業務執行状況 法人の財産管理状況 法人及び施設の業務執行状況 法人及び施設の会計状況 その他の状況	適正である 適正である 適正である 適正である 適正である	無し 無し 無し 無し 無し

※監査項目内容は、監査チェックマニュアルによる。

(6) 静岡市 社会福祉法人指導監査

- ・令和4年度なし(次回は令和6年度)

(7) 地域貢献事業等実施状況

① 生活困窮者支援事業

- ・日本平学園を利用している生活困窮者の利用料免除(対象者1名)
- ・日本平学園を利用している生活困窮者への物品支給(対象者1名)

② 地域清掃活動

- ・隣接する東豊田中央こども園 園庭土手の草刈り

③ 地域大学にて職員による講演

- ・静岡県立大学短期大学部での学生向けの講演

④ 地域施設へのお菓子配布

- ・東豊田中央こども園園児へのお菓子配布

(8) 職員関連事項

① 職員配置

(令和5年3月31日現在)

区 分	日本平学園	日本平ホーム	日本平ハイツ
正 職 員	7名	1名	1名
契約職員	6名		
パ ー ト	2名	3名	1名
運 転 手	2名		
計	17名	4名	2名

② 職員の異動状況

(令和5年3月31日現在)

区 分	採 用	退 職
正 職 員	2名	1名
契約職員	2名	1名
パ ー ト	1名	
運 転 手		1名
計	5名	3名

③ 職員健康診断実施状況(1回/年)

- ・山田医院にて 4名
- ・静岡市静岡医師会健診センターにて 12名

④ 職員面談実施

実施日 令和4年5月23日(月)、24日(火)、26日(木)、27日(金)
場 所 日本平学園内会議室
面談者 理事長、施設長
参加者 日本平学園15名、日本平ホーム3名、日本平ハイツ2名

(9) 社会福祉充実残額について

残額なし

(10) その他

寄附者 漁田 俊子

II 施設事業報告

1. 日本平学園(就労継続支援B型事業、生活介護事業)

(1) 総括(1年の振り返り)

令和4年度の法人事業計画に基づき、項目ごとに振り返りを行う。

1. 「利用者の健康維持及び安全確保」について

前年度同様コロナ禍での生活が続いており、可能な限りの感染防止対策を継続した。12月に入ると利用者に感染者が出始めた為、嘱託医山田医師に相談、助言を頂き、利用者は1週間程自宅待機にて状況を見守ることとした。

2. 「工賃の目標」について

前年度、就労継続支援B型事業の平均工賃が35,000円を超えたので、当年はその金額の維持と向上、及び全収入のアップを図る事を目標として取り組んだ。利用者の頑張りに応えようと職員も必死に努力した結果、収入も増加し、就労継続支援B型事業の平均工賃も40,000円を超えることとなった。この数字は県内、市内でも上位に位置する結果となった。

3. 「利用者支援の質の向上」について

作業や活動において、利用者の意思を確認したり、選択する機会を設けたりといった支援を行う事で、その利用者主体の支援を行うように努めた。また支援の自己評価に加えて他者評価を行い、より客観的な視点で職員自身の支援の質を振り返る機会とした。

4. 「職員のチームワークの向上、各職員の自己研鑽の推進」について

職員間での報連相、コミュニケーションが足りないと利用者支援や日々の業務に支障をきたしてしまうので、まずは班単位でのミーティングの実施、職員会議時や退勤前の申し送り等、全体での共有事項の確認等に取り組んだ。また各研修に参加し、専門職としての自己研鑽を促した。

5. 「6S※ 向上の推進」について

職場内の整理整頓、清掃をはじめ、それらが利用者の安全確保や作業品の品質管理に必要不可欠であるという事を繰り返し伝えて意識付けを図った。6S推進会議も立ち上げ、日本平学園全体として推進活動に取り組んだ。

※6Sとは…職場環境の改善や維持のために用いられるスローガンです。

「整理」「整頓」「清掃」「清潔」「習慣」「躰」の頭文字のSが6つで6Sです。

(2) 利用者の状況(令和5年3月31日現在)

多機能型 定員40名(生活介護24名、就労継続支援B型16名)

現員43名(生活介護28名、就労継続支援B型15名)

4月 静岡県立静岡北特別支援学校より1名入園

5月 就労継続支援B型の男性1名退園

6月 就労継続支援B型の男性1名退園

3月 生活介護の男性1名退園

① 障害支援区分 (単位：名)

区分	1	2	3	4	5	6	計
就労B型	1		5	7	2		15
生活介護			3	9	9	7	28
計	1		8	16	11	7	43

※区分の数字が大きくなるほど、手厚い支援が必要です。

② 年齢別在所要者数 (単位：名)

区分	10代	20代	30代	40代	50代	60代	計	平均
男性	1	8	8	7	2		26	32.0歳
女性		1	6	5	4	1	17	43.8歳
計	1	9	14	12	6	1	43	36.7歳

③ 療育手帳区分 (単位：名)

区分	A	B	計
男性	22	4	26
女性	12	5	17
計	34	9	43

④ 身体障害状況 (単位：名)

	視覚	言語	上肢	下肢	運動	呼吸器	計
男性	1		1	1		1	4
女性	1	1	3		2		7
計	2	1	4	1	2	1	11

※合計は重複している人数。

⑤ てんかんの状況

男性	10名
女性	5名
計	15名

⑥ 自閉症（自閉傾向）の状況

男性	10名
女性	8名
計	19名

(3) 利用率

(利用率は定員に対してのものです。延利用者数 / (定員 × 開所日数))

生活介護	定員	現員	延利用者数	開所日数	利用率
4月	24名	29名	554名	22日	104.9%
5月			592名	23日	107.2%
6月			578名	22日	109.4%
7月			601名	23日	108.8%
8月			592名	23日	107.2%
9月			570名	22日	107.9%
10月			589名	23日	106.7%
11月			567名	22日	107.3%
12月			606名	23日	109.7%
1月			572名	23日	103.6%
2月			481名	20日	100.2%
3月			28名	28名	561名
計	—	—	6,861名	269日	平均 106.2%

就労B型	定員	現員	延利用者数	開所日数	利用率
4月	16名	17名	323名	22日	91.7%
5月			340名	23日	92.3%
6月		16名	325名	22日	92.3%
7月		15名	337名	23日	91.5%
8月			336名	23日	91.3%
9月			322名	22日	91.5%
10月			329名	23日	89.4%
11月			324名	22日	92.0%
12月			338名	23日	91.8%
1月			337名	23日	91.5%
2月			290名	20日	90.6%
3月			341名	23日	92.6%
計					3,942名

(4) 工賃支払い状況

(単位：円)

	就労B型			生活介護(作業班)		
	最高額	月平均	前年度比	最高額	月平均	前年度比
4月	30,000	28,267	+10,209	8,000	7,827	+1,907
5月	30,000	28,267	+10,209	8,000	7,433	+1,793
6月	30,000	28,267	+10,209	8,000	7,933	+2,300
7月	30,000	28,267	+10,209	8,000	7,873	+2,133
8月	30,000	28,267	+10,209	8,000	7,786	+2,219
9月	30,000	28,267	+10,209	8,000	7,667	+3,567
10月	30,000	28,267	+10,209	8,000	7,473	+1,330
調整	46,700	44,473	+14,473	12,000	12,000	+2,000
11月	30,000	28,267	+10,209	10,000	9,366	+3,223
12月	30,000	28,267	+10,209	10,000	10,000	+3,843
1月	30,000	28,267	+10,209	10,000	9,346	+3,246
2月	30,000	28,267	+10,209	10,000	9,333	+3,076
3月	265,400	126,993	+58,860	22,600	20,521	+14,436

※令和4年度 就労継続支援B型事業 平均工賃 40,200円

前年度(令和3年度)実績	35,498円	前年度比 +4,702円
前々年度(令和2年度)実績	23,307円	前々年度比 +16,893円

(5) 委託作業収入実績(令和4年4月～令和5年3月)

1	静岡県保険医協会：新聞折り、封筒入れ	2,247,076円
2	(株)十字屋紙器：プラモデル袋詰め	7,581,259円
3	静岡中部合成(株)：ヘッドライトゴム軽作業	792,000円
4	(株)大須賀製作所	356,753円
5	(株)故紙セントートヨタ：故紙回収	85,920円
6	〃：トイレットペーパー販売	130,280円
7	静岡県社会就労センター協議会：駐車場清掃	185,640円
8	〃：チラシ封入等	86,580円
9	〃：災害備蓄品調達	61,624円
10	〃：セルフ茶販売	75,600円
11	海上保安庁清水海上保安部：灯台草刈り	137,060円
12	ホンダカーズ静岡(株)：故紙回収	79,200円
13	日本ハム(株)ギフト販売	22,800円
14	(有)アルプス：ペットフード封入	56,638円
15	(有)クリハラ商事：トイレットペーパー販売	31,850円
16	オールシズオカベストコミュニティ	14,250円
17	トラヤ洋菓子販売	14,700円
18	選挙チラシ配布	14,000円
19	【自主製品】ポチ袋販売(12月、3月)	9,506円
合 計		11,982,736円
前年度(令和3年度)実績	9,946,202円	前年度比 +2,036,534円
前々年度(令和2年度)実績	6,616,477円	前々年度比 +5,366,259円

(6) 行事、イベント状況

	行事内容
4月	令和4年度入園式
6月	嘱託医山田医師による利用者健康診断
7月	音楽会交流コンサート(C班のみ参加)
9月	静岡済生会総合病院による利用者健康診断
10月	インフルエンザ予防接種(希望者)
11月	施設防災訓練(避難訓練)
1月	令和4年度成人式
2月	御殿場高原ビールレストラン食事会
3月	地域交流会

その他

- ・ 音楽療法(希望者のみ)、血圧測定は毎月実施
- ・ 運動療養は、土曜日に実施(希望者のみ)

(7) 実習生及び見学者受け入れ状況

① 特別支援学校実習生

静大附属	静岡北	清水	静岡中央	計
なし	4名(延20名)	なし	なし	4名(延20名)

② 大学・短大等実習生

大学・短大等	中学校 (体験学習)	その他	計
6名(延34名)	なし	なし	6名(延34名)

※その他は、一般社会人の職場体験等

③ 見学者

支援学校関係	施設関係	その他	計
18名	2名	なし	20名

(8) 苦情申し立て状況 特になし

(9) 会議開催状況

- ・職員会議支援員会議（全支援員）・・・・・・・・・・毎月各1回実施
- ・コーチング・会議（施設長、各班責任者）・・・・・・・・不定期にて実施
- ・栄養管理委員会
（ウェルビーフードシステム(株)、給食担当職員）・毎月1回実施
- ・課長会議（施設長、企画課長、支援課長）・・・・・・・・毎週月曜日実施

(10) 広報誌「青い鳥」発行状況

- 1回目…4月27日596部発行
- 2回目…10月26日590部発行

(11) その他

※職員による利用者（障害者）虐待案件 1件 発生

7月22日（金）午後の活動中（作業中）、支援員が拘り行動を行っている利用者の背後に近づき、頭部を叩いた。施設長がその現場を目撃し、被害利用者に外傷等の有無を確認した後、職員本人に事実確認を行い、利用者に謝罪を行う。

週明けの7月25日（月）理事長、副理事長に報告し、翌7月26日（火）に被害利用者の保護者に来園していただき、状況説明と謝罪を行う。同日静岡市にて電話にて報告、後日書面にて届出を行った。

7月28日（木）午後に理事による「法人懲罰委員会」を臨時開催し当該職員を3日間の出勤停止処分及び嚴重注意を実施した。

9月6日付で静岡市が虐待案件として認定、当法人宛に改善指導通知を発送、受領した。その後「改善計画書」を作成し、9月21日に静岡市に送付して今回の案件は終了となった。

2. 日本平ホーム・日本平ハイツ（共同生活援助〔包括型〕事業）

（1）総括（1年の振り返り）

令和4年度の法人事業計画に基づき、項目ごとに振り返りを行う。

1. 「利用者の健康維持、安全確保」について

コロナ禍継続の為、日本平ホーム、日本平ハイツ共に感染拡大防止対策（手洗い、消毒、食事の時間差摂取、衝立の使用、リビングでの密状態を避ける、居室で過ごす等）を継続した。12月に日本平ホーム、日本平ハイツの利用者が新型コロナに感染した為、嘱託医山田医師の助言の下、感染者以外は帰宅したり、残る利用者には動線を区切るなどして安全確保を図って支援した。

2. 「利用者の生活の質の向上」について

利用者本人の気持ちを引き出せるよう、コミュニケーションの機会を増やしたり、選択する機会を設けたりした。また少しでも喜んでいただけるよう、食事のメニューの聞き取りをしたり、お菓子を作って提供する等実施した。

3. 「職員の育成」について

外部研修の参加は出来なかったが、利用者それぞれの課題に向き合い、職員会議等で話し合った内容を試したりして少しでも良い方向に進むよう取り組んだ。

4. 「新グループホームの運営の安定」について

日本平ハイツ開設時、夕方勤務職員の応募がなく、日本平ホーム職員の異動を行って対応した。7月より職員2人体制となり落ち着いてきたが、日々起こる利用者の問題に対しては、その都度助言など行い様子を観ながら対応した。新型コロナもあったが、何とか乗り越えて1年が過ぎた。

（2）利用者の状況(令和5年3月31日現在)

定員 12名（日本平ホーム7名、日本平ハイツ5名） 現員 12名

① 年齢別在所者数

(単位：名)

区分	30～40歳	41～50歳	51～60歳	61歳以上	計	平均
男性	3	2	1		6	40.3歳
女性	1	2	2	1	6	51.2歳
計	4	4	3	1	12	45.8歳

② 施設在所年数 (単位：名)

区分	1年未満	1～10年	10年以上	計	平均
男性	2	2	2	6	5年3月
女性	3	1	2	6	5年11月
計	5	3	4	12	5年7月

(3) 利用率

※利用率は定員に対してのものです。延利用者数 / (定員 × 支援日数)

月	支援日数 / 開所日数	延利用者数	利用率
4月	25 / 30日	263名	87.6%
5月	23 / 31日	249名	90.2%
6月	22 / 30日	257名	97.3%
7月	25 / 31日	266名	88.6%
8月	24 / 31日	263名	91.3%
9月	25 / 30日	262名	87.3%
10月	24 / 31日	259名	89.9%
11月	26 / 30日	267名	85.5%
12月	18 / 31日	173名	80.0%
1月	23 / 31日	263名	95.2%
2月	23 / 28日	236名	85.5%
3月	26 / 31日	278名	89.1%
計	284 / 365日	3,036名	平均 88.9%

※支援日数とは、職員が支援を実施した日数のこと。

※開所日数は、職員の支援がなく利用者のみで生活した日数も含む。

(4) 利用者ミーティング実施状況

1回 / 月 実施

(5) 避難訓練実施状況

5回 (4月、6月、9月、1月、3月) 実施 (日本平ハイツは6月実施)

3. 日本平ホーム短期入所事業所（短期入所事業）

（1）総括（1年の振り返り）

<p>令和4年度の法人事業計画に基づき、項目ごとに振り返りを行う。</p> <p>1. <u>「利用者の健康維持、安全確保」</u>について 短期入所利用者にも日本平ホーム利用者同様、検温、手洗い、消毒等の感染拡大防止対策を実施し、健康維持、安全確保に努めた。</p> <p>2. <u>「自立に向けた支援」</u>について 食事や歯磨き、着替え等、その人の状況に応じて、本人が出来る事は本人に、出来ない部分を支援するよう取り組んだ。1人で寝泊まりする経験を重ねて、自立心が養われるよう利用を促した。</p> <p>3. <u>「ご家族の負担の軽減」</u>について 前月に利用希望のアンケートを取り、日程、組み合わせ等の調整を行い決定していくが、その際保護者に利用限度まで余裕のある方には、枠内でプラス1回の利用を促す声掛けを行った。</p> <p>4. <u>「利用稼働率の維持」</u>について 平均して月に2, 3回の空きが出てしまう状況の為、複数回の利用促しを行った。新規開拓には至らなかった為、今後実施していく。</p>
--

（2）利用実績（定員2名）

（単位：名）

月	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	延利用者数	開所回数	利用率
4			6	4	16	7	33	17	97.1%
5			6	4	18	8	36	18	100%
6			5	4	23	3	35	18	97.2%
7			6	5	16	5	32	18	88.8%
8			5	5	17	7	34	19	89.4%
9			6	4	18	5	33	17	97.1%
10			7	6	19	4	36	19	97.2%

11			5	7	17	5	34	18	97.1%
12			4	3	9	5	21	18	58.3%
1			4	7	17	6	34	19	89.4%
2			3	7	14	4	28	15	93.3%
3			4	5	16	4	29	18	80.5%
計			61	61	200	63	385	214	平均 90.4%

※利用率は定員に対してのものです。(延利用者数/(定員×開所回数))

(3) 避難訓練実施状況

日本平ホームに準じて実施 5回/年 実施

事業報告の付属明細書

1. 該当なし